



群馬県立富岡高等学校

同窓会報

題字 富岡高校同窓会相談役 浅川美代子 氏

第6号

令和6年
9月1日



令和6年

第4回桜槻祭開催される

5月31日(金)、6月1日(土)に、第4回桜槻祭(文化祭)が開催されました。今年は31日は校内発表、1日は一般公開が行われ、約2,700人を迎えて大盛況の内に終了いたしました。

富岡高等学校同窓会報目次

母校の将来を見据えて …………… 同窓会長 松井 徹郎 2	これからの富高を考える会 発足について…………… 荻野 初夫 5	令和5年度進路状況 …………… 8
これからの富岡高校 …………… 校長 悴田 利行 3	年会費及び後援会募金振り込み実績報告 …………… 5	令和5年度部活動成績 …………… 9
東京かぶら会だより … 東京かぶら会事務局長 林 光伸 4	母校だより …全日制教頭 塚本 延之 6	卒業から三十年を迎えて ……………代表幹事 池田 憲亮 10
高崎かぶら会だより …………… 高崎かぶら会会長 蒲谷 良充 4	定時制だより …………… 定時制教頭 小井戸 正裕 7	第6回同窓会総会・懇親会のご案内 …………… 10
	富高フォトギャラリー…………… 6~7	編集後記…………… 10



母校の将来を見据えて

同窓会長 松井 徹郎

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。また、日頃より本会活動へのご理解とご協力に対し、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年5月からのコロナ感染症規制緩和に伴い、日常生活を取り戻りつつある社会になった去る6月、毎年開催となった「第4回桜楓祭」が、来場者約2,700人を迎えて成功裏に終わりました。そして、生徒たちはこれから夏休みを控え、勉学に部活動に勤しむ、忙しい日々になります。それぞれが、それぞれの目標に向かって邁進できるように同窓会としては応援して行きたいと考えています。

ここで同窓会から直近の学校側への主たる金銭的後援として、①第2グラウンドトイレの改修 ②第1体育館の照明器具交換 ③御殿前池に井戸水を送るポンプ購入 ④卒業

証書ホルダー ⑤校庭の整備

⑥吹奏楽部楽器購入補助 ⑦「桜楓祭」に関わったシヤトルバス代（市営駐車場―学校間）などに、同窓会費、後援会費から拠出させていたいただきましたことをご報告いたします。

ところで、同窓会運営をするにあたり、現在、大きな二つの問題を抱えております。まず、運営資金難があります。会費納入者数は、数年前までは辛うじて1,000人を維持してきましたが、この2年間は700人を割り込み、納入率は2.8%と決して高いとは言えない数字になっています。会報発行にそして25,000本の送付に掛かるコストは、およそ450万円になります。従って、毎年資産の取り崩しが続く、それもいよいよ極限状態に陥ってきました。正念場を迎えた今、本部の組織を明確化すべく、総務・財務・

会報・情報の4委員会を設置し、各委員会がそれぞれの課題に対して打開策の検討に入りました。付きましては皆様のご意見をいただければ幸いです。もう一つは、生徒の募集難による母校の存亡です。今年度は1クラス減の200人にした結果、定員割れは避けられましたが、来年度も微妙なところだと予測できます。原因は少子化にあることは明らかです。10年前までの富岡市の年間新生児は優に3000人を超えていましたが、昨年の富岡市の新生児は166人でした。富岡市所在の2高校の募集定員320人は、将来、どうなってしまうのでしょうか？

そこで、以上のふたつの問題に対処すべく有志による「これからの富高を考える会」を設置し、会合を重ねています。最近の傾向として、地元の高校よりも中核都市の私立高校に傾注する中学生や保護者、高等学校の在り方も多様化し、インターネット・通信高校が勢力を伸ばしてきたり、話題性を売りにする高校など、選択肢が増えてきている事実があります。こうした中、同窓

会として、何ができるかを考えたとき、昨今、全国的に広まってきている中高一貫校に注目し、前述した「これからの富高を考える会」とは別に、「中高一貫校推進実行委員会」を立ち上げ動き始めました。実現するかは未知数ですが、それにより本校が魅力のある、そして、生徒が集まる学校になることを目指し奔走してまいります。会員の皆様方にもぜひお知恵を出していただき、母校の進むべき方向、そして同窓会のあり方等について、ご助言いただければ幸甚に存じます。

おわりに、同窓会は会員の皆様に支えていただき初めて成り立ちます。同窓会に対するお考えは様々だと思いますが、同窓会会則の第3条（本会は会員相互の親睦を計り併せて母校の発展に寄与することを目的とする）を思い返し、それを具現化するためにも、大変恐縮ではありますが、本年も会費の納入を何卒よろしくお願いいたします。今後の母校の更なる発展と、会員の皆様のご健康、ご多幸を祈念し、ご挨拶と致します。

司法書士 宮前事務所
行政書士

宮前 有光 (昭40年卒)
宮前 知光 (平4年卒)

富岡市富岡1622-8
TEL.0274-63-0311

医療法人 社団美心会 黒沢病院

理事長 黒澤 功 (昭35年卒)

〒370-1203 高崎市矢中町 187
☎027-352-1166



これからの富岡高校

校長 伊和 利行

同窓会の皆様には、日頃から本校へのご支援をいただき、誠にありがとうございます。富岡東高校と旧富岡高校が統合して、七年目を迎えました。今年度より、全日制の定員が二百人となり、一学年のクラス数は六から五となりました。ここ数年は定員を満たしていませんでした。仕方のないことですが、学校の規模が小さくなることはさみしいかぎりです。しかし、規模は小さくなくても、今までどおり、文武の両方において、この地域で存在感を放つていきたいと考えています。

富岡高校は、令和五年度から群馬県教育委員会から「SAH協力校」の指定を受けています。SAHとは Student Agency High School のことです。Agency (エージェンシー) とは、「人が誰しも生まれついて持っている自分と社会をより良くしようと願う意思、原動力」です(群馬県教育ビジョンより)。教師は、子供たちが持っている Agency を信じ、子供たちを見守りつつ、適切な支援をしていくという考え方で、具体的には、子供たち自身が、試行錯誤しながら、対話や交流を通して、自己決定していくことをねらいとしています。富岡高校では、生徒の自主性を重んじ、自ら課題を発見し、解決する能力の育成を目指しています。令和六年度より文化祭(桜楓祭)を毎年開催することになりました。今までは、隔年での開催であったため、どうしても教員主導の文化祭になりがちでした。毎年開催にすることで、文化祭の企画や運営が次年度に引き継がれ易くなり、教員がおこなってきたことを生徒に任せ、生徒が主体となつて文化祭を作りあげてほしいという願いがあります。今年度の文化祭はその第一歩となり

ました。同窓会の方々にも、ご来校いただきありがとうございます。来場者数は二千七百人を超え、成功裏に終えることができました。二学期には、これまで実施していた球技大会と体育祭を統合し Sports Day として体育的行事を開催します。この行事も生徒が主体となつて作り上げてほしいと期待しています。話は変わりますが、現在、富岡高校は「探究活動」に力を入れていきます。これも、自ら課題を発見し、解決する能力の育成を目指すものです。具体的には、一年生で全生徒がインターンシップを経験します。これは単なる職場体験ではなく、受け入れてくれた企業や事業所が抱える課題、関係する産業分野の課題をインターンシップを通して見つけ、課題解決に向けて研究するものです。富岡高校では課題解決型インターンシップと呼んでいます。また、二年生から三年生にかけては、一人ひとりが自分のテーマ(富岡高校では Research Question と呼んでいます)を決め、調査、研究を行い、研究の結果や解決策を模索します。一年生か

ら三年生にかけて繰り返し、自分自身で問いを立て、結論を導く活動をおこない、最後はそれを生徒同士で発表します。三年生で最終的にまとめたいものは、外部のコンテスト等に応募しています。昨年度は、全国レベルで入賞した生徒もいます。また、この探究活動に力を入れることは、大入学入試、特に総合型入試や学校推薦型入試などにおいて、高校で力を入れたこととして自身をもつて紹介することができ、生徒の進路実現にもつながっています。冒頭に定員減の話しましたが、生徒は積極的にいるいろいろな活動に主体的に取り組んでいます。我々教職員は、全ての生徒が高校生活を謳歌し、自分の進路希望を達成できるようサポートをしていく所存です。文化祭(桜楓祭)は毎年開催となりました。現在の富岡高校の生徒の頑張りを知っていただくために、文化祭にお越しいただければ幸いです。最後になりますが、同窓会のみならずのご発展を祈念するとともに、皆様のご多幸をお祈りいたします。

群馬県公安委員会指定

西毛自動車教習所

代表取締役 小金澤 章 (昭39年卒)
専務取締役 小金澤 一久

富岡市下黒岩849-4
TEL.0274-62-3711

階段・カウンター製造販売

茂木クラフトワークス(株)

会長 茂木宣四郎 (昭29年卒)
社長 茂木 和弘 (昭55年卒)

富岡市桑原1120-6
TEL.0274-62-0529

《設立》昭和19年7月29日

富岡証券(株)

代表取締役 松井 徹郎 (昭43年卒)

本社 富岡市七日市889-2
TEL.0274-63-1341

営業所 藤岡市藤岡885-21
TEL.0274-24-4711

東京 かぶら会だより



東京かぶら会事務局長
林 光伸
(昭和52年卒)

員数は約1400名です。現状は60歳代以上の参加会員が多いので、今後は若い人が多く参加していただくことを望んでいます。

同窓会会員の皆様におかれましては、お元気でお励みのこととご推察申し上げます。東京かぶら会は首都圏に住または勤務している富岡高校・富岡東高校の卒業生を対象にした同窓会で、現在の会

高崎 かぶら会だより



高崎かぶら会会長
蒲谷 良充
(昭和46年卒)

同窓会員の皆様には、日頃より大変お世話になり、有難うございます。今年2月の高崎かぶら会総会において、承認していただき、会長に就任致しました。

黒澤前会長は、14年間高崎かぶら会の進化、向上にご尽力されました。ジャズの会の開催、総会出席者120名超など会の活性化、会員相互の親睦と相互扶助を推進され、さらには、母校の発展にも寄与されました。

人望が厚く、母校愛に溢れる前会長の後を引き継ぐことに、私は力不足を感じ、不安を抱かざるを得ませんでした。しかし、母校への思いから覚悟を決め、前会長の目標を継承し、母校と会員の皆様を結んで、母校の発展のためにベストを尽くす所存です。

備をしています。東京かぶら会会長、富岡高校同窓会会長、富岡高校校長、富岡市長、教員の皆様のご挨拶から始まり、富高記念講演の記事、そして東京かぶら会会員の随筆等で成り立っています。富高出身の先輩方による体験談の記事、海外に在住している方のお話等、興味深い記事で満載となっております。

2月17日(土)に、4年ぶりに高崎かぶら会総会を開催することができました。富岡高校 悴田利行校長、同窓会本部 松井徹郎会長、東京かぶら会 新井敏彦会長を始め86名の皆様のご出席をいただき親睦を深めることができました。

一方、今後の課題が少なくとも二つあります。まずは、旧富岡東高校の卒業生の中から役員を選出することです。そして、上信電鉄沿線の高崎及びその周辺から、富岡高校への志願者を増やす方策を共に検討する等、母校発展の一助となることを期待します。

【東京かぶら会役員】
名誉会長 相川春夫(昭28年卒)
会長 新井敏彦(昭46年卒)
副会長 青木利夫(昭42年卒)
伊藤敦子(昭45年卒)
会計監査 平井美治(昭43年卒)
事務局長 林 光伸(昭52年卒)

もう一つは、高崎、藤岡、安中及びその周辺に居住又は勤務しているのに、連絡がとれない同窓生が沢山いることです。会員の皆様の連携によって、所在を確認し、名簿を整備して交流の輪をさらに広げたいと考えています。

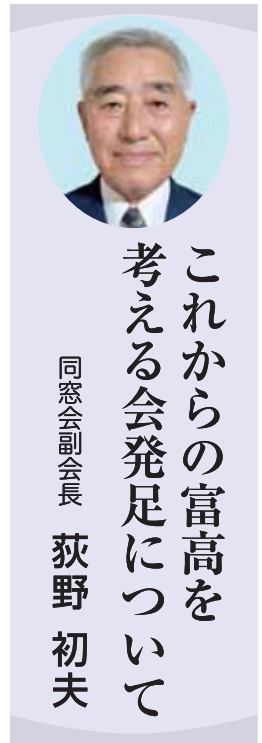
名譽ある高崎かぶら会会長として、私はその責務を全うするためには、新役員の方々や会員の皆様のご支援、ご協力が不可欠な要素であることをご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



群馬県立富岡高等学校首都圏同窓会
東京かぶら会
事務局長
林 光伸 (昭52卒)
E-mail: pixel8843@gmail.com
携帯電話: 090-3104-7197

群馬県立富岡高等学校首都圏同窓会
東京かぶら会
会長
新井敏彦 (昭46卒)
さいたま市桜区道場3-5-1-504
TEL/FAX: 048-866-3252

人情マルシェYY社
萬壽庵の経営 (伊香保水沢観音)
代表
山田恒雄 (昭42卒)
読賣新聞東京本社販売OB会幹事長
携帯電話: 090-2654-5405



これからの富高を 考える会発足について

同窓会副会長 荻野 初夫

平成30年に東高・富高が統合して今年で7年目を迎えた母校であります。ここ数年は定員240名の枠に対して入学希望者が200名強の年が続いていました。本年度より定員が200名に引き下げられ、名目上、定員割れは回避しようですが、少子化という大きな波の中でこのような状況を強く危惧し、学校でも校長先生をはじめ先生方が色々なご尽力をなされていきます。同窓会としても何かアクションを起こす時期と考え、本部役員を中心に「これからの富高を考える会」を発足いたしました。

統合後、母校への思いが薄くなつてきたというOB、OGの声をよく耳にします。しかし新富高を側面から支えていくのは同窓会員の役目であると思います。考える会のメンバーからも幾多のご意見をいただいております。それらを短・中・長期に区分し順序立てて行動し、富高の魅力を少しでも引き上げる努力をしていきたいと考えます。また、会のメンバーに有識者、そして現役のPTAの方等、若手の皆さんを勧誘して、幅広く意見を募って会を盛り上げていきたいと思っております。

富高のこのような状況は、富岡市の繁栄にも深く関りがあると考え、市にも協力を仰ぎ、富岡市、富高、同窓会の三位一体での協議の場を設けました。1回目の円卓会議は昨年10月に市役所内に於いて市長はじめ市職員の方々、富高校長、教頭、事務長、同窓会本部役員の参加で開催され

ました。県立高校と市という難しいところもありましたが、良い意見交換ができたと感じました。本年度より同窓会本部の役員の中に4つの委員会(総務・財務・会報・情報)を配置し、活動の啓発を図っていくこととなりました。それと並行して当会もその一角に位置付け早めに行動を起こし、学校の

イメージアップに繋げていきたいと考えているところであります。

同窓会員の皆さまにおかれましては、会の趣旨をご理解いただき、お気付きの点やご意見等がございましたら同窓会総務委員会までお寄せください。よろしくお願いいたします。

入学希望者が高崎方面の学校へ流れる傾向が強い現状ですが、富高を目指す子供さんを少しでも増やせますよう会員の皆さまの一層のお力添えをお願い申し上げます。母校の入学希望者が常に定員を上回る状況が未永く続くことを強く期待して会の紹介とさせていただきます。

年会費及び後援会募金振り込み実績報告

年会費は、令和6年3月31日現在、郵便局224件、コンビニ431件の振り込みとなっております。金額は約200万円弱となっております。年々減少傾向にあります。諸物価高騰の折、大変恐縮に存じますが、例年以上のご協力をいただければ幸いです。後援会費は、左記の決算報告の通りご報告させていただきます。

令和5年度 富高後援会収支決算書

令和6年3月31日

1 収入の部

(単位：円)

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	3,420,659	前年度より
募 金	437,000	郵便局 139名
募 金	948,000	コンビニ 316名
雑 入	24	
合 計	4,805,683	

2 支出の部

項目	決算額	摘要
運 営 費	737,250	印刷郵送代
	24,395	振替手数料(郵便局)
	68,068	収納手数料等(コンビニ)
教育活動後援費	796,154	第二グラウンドトイレ改修、第一体育館ステージ照明交換等
合 計	1,625,867	

3 差引残高 3,179,816 (次年度へ繰り越し)

株式会社パークゴルフ

代表取締役 荻野 初夫 (昭43卒)

〒370-2345 富岡市上黒岩1703

TEL.0274-64-4189

E-mail: park1515@iaa.itkeeper.ne.jp

250ヤード・オートティーアップのゴルフ練習場

富岡高校 野球部OB会

会 長 田村峰嗣(昭57)

会長代行 下山 稔(昭55) 高間 繁(昭56)

副会長 五井孝浩(昭60) 綿貫栄一郎(昭60)

秋山勝重(昭61) 茂木康則(昭62)

理事長 藤間和彦(昭63)

富岡高校 ハンドボール部 校友会

会 長 石井 保

母校だより



全日制教頭
塚本 延之

同窓会員の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただき大変感謝申し上げます。

さて、甘楽富岡地区の少子化は急激に進行しており、本校でも今年度から学級減が始まり一学年5クラスとなりました。もつとも志願者が減ることはなく、今年度については卒業生を上回る入学生を迎えることができました。ただし、生徒数は減らなくても教員定数や予算配分などは確実に減じていきますので、今後の学校運営において様々な場面で困難が予想されます。同窓会におかれましては今後とも各方面でのご支援のほどよろしくお願いいたします。

それでは令和5年度学校概要を簡単に報告いたします。

【進路実績】

令和5年度卒業生は従来より一クラス以上少ない百九十

八名でした。入学時より大きく定員を割り込み、学力的にも厳しいと言われました。しかし三年後、大学合格者三百六十二名、うち国公立大学が七十一名で、従来と全く遜色ない結果となりました。これは、最後の最後まで諦めずに戦い切った生徒が多かったことが最大の要因であったと思われまます。

【部活動】

令和5年度も後掲のように運動部、文化部ともに盛んに活動し、素晴らしい結果を残した部活動も多々ありました。中でも男子ハンドボール部は二十八年連続県総体優勝の偉業を成し遂げ、夏の全国総体(インターハイ)や翌春の全国選抜大会にも出場しました。陸上競技部でも全国総体出場、囲碁将棋部と書道部も県大会を勝ち抜き全国総文祭に出場しました。

この他、4年ぶりに一般公開が行われた桜楓祭(文化祭)は二千七百人を超える入場者を数え大盛況となり、生徒の非認知能向上を図るためにも令和六年度以降毎年開催とし、学校の特徴の一つとしていこうと考えています。

富高フォトギャラリー



開校記念講演



富岡製糸観桜会にて



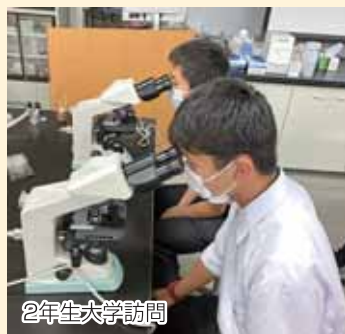
入学式



中庭コンサート



生徒総会



2年生大学訪問

伊藤石油ガス株式会社

代表取締役 伊藤 好則 (昭56年卒)
常務取締役 伊藤 隆幸 (平2年卒)

富岡市富岡2740
TEL.0274-62-2611
FAX.0274-64-1527

下仁田調剤薬局

(有)小林薬局

代表取締役 小林 京子 (昭40年卒)

甘楽郡下仁田町下仁田392-5
TEL.0274-70-3535

嶋田税務会計事務所

税理士 嶋田 佳幸 (昭51年卒)

富岡市富岡1435-16
TEL.0274-63-0815

(7) 富岡高校同窓会報

定時制だより



定時制教頭
小井戸 正裕

同窓会会員の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。

本年度の定時制は、一年生九名、二年生五名、三年生五名、四年生三名の計二十二名が在籍しています。少人数の特色を生かして、生徒一人一人が自分らしく、学校生活を送れるような学習環境を提供できるように努力しています。

定時制では、卒業する生徒が、「自立して、社会を生きる力」「自ら考え、行動する力」「他者を思いやる力」を身につけることを目標としています。

そこで、「話し合いや積極的な発言、発表を推奨する授業」や「社会について知るための授業や進路学習」、「生徒が中心となって運営する生徒会活動」に力を入れていきたいと思っています。

六月に行われた桜楓祭では、前年度と同様にかき氷の模擬店を出店し、生徒全員が協力して、昨年度以上の販売目標

数を完売することができました。多くのお客さんが喜んでかき氷を食べる姿を見られて、生徒一人一人にとって良い思い出になったと思います。

また、交通安全教室や球技大会、西毛地区の体育大会、一日旅行などの行事を通して、生徒の学びの幅を広げていきたいと考えています。

今後も定時制に対し、同窓生の皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年度の主な行事は以下の通りです。

○球技大会

パークレイン高崎で毎年恒例の球技大会を行い、大いに盛り上がりました。

○生活体験発表大会

本校を会場に西毛地区大会が行われました。本校を代表して二名の生徒が生活体験を発表しました。結果は第三位でした。

○一日修学旅行

東京方面へのバス旅行を実施しました。最初は東京スカイツリーに行き、展望台からの眺めを楽しみました。

その後、周辺の商業施設で食事や買い物を楽しんだ後、浅草に移動し、浅草寺の仲見世通りなどを見学しました。生徒にとって、思い出に残る楽しい一日になりました。



定時制・マラソン大会



探究活動中間発表会



探究活動(1年生)



定時制・一目旅行



卒業式



共通テスト応援

三協印刷

代表 有賀研一
(昭和45年卒)



富岡市田篠233-4 TEL:0274-62-0738

みんなが選んだぐまのおみやげ3位
本宿どうなつ(白あん)

菓子処

古月堂

代表取締役 井出 貴之(平5年卒)
井出 孝一(昭38年卒)

本店: 甘楽郡下仁田町本宿3760
TEL.0274-84-2417
前橋みなみ店: 前橋市鶴光路町353-2
TEL.027-265-1883

アメリカンランゲージスクール

校長 今井 秀典(昭49年卒)
今井 直美

富岡市富岡3053
TEL.0274-62-2219

令和5年度進路状況

昨今の大学入試改革の一連の大きな流れの中で、「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」の入試形態による定員が増加しています。本校でも第一志望校の受験機会を最大限に活用すべく、多くの生徒が総合型・学校推薦型から果敢にチャレンジしていきましました。その結果、国公立大学等で合計30名、私立大学で76名が総合型・学校推薦型選抜で合格を果たしました。また一般選抜でも生徒たちは最後まで粘り強く取り組み、結果として既卒生を含めて、国公立大学等に総計71名が合格しました。

進路実現には、生徒自身の努力や教職員の指導はもちろんですが、保護者の方々をはじめとする周囲からのサポートも必要であることに間違いありません。また、生徒が安心して学習できる環境を整えていくことも重要です。今後とも、富岡高校の取組にご理解、ご協力をいただくとともに、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

国立大学	国立大学校	ものづくり	2	東京家政	3	私立大学計 362
秋田 2	防衛大学校 1	淑徳	1	東京経済	4	短期大学
山形 1	国立大学校計 1	聖徳	3	東京工科	2	育英 1
茨城 2	海外の大学	千葉工業	9	東京電機	3	高崎商科大 1
筑波 2	University of Liverpool 1	中央学院	1	東京農業	4	新島学園 4
宇都宮 2	(英国立)	帝京平成	1	東京薬科	1	國學院大學栃木 3
群馬 9	海外の大学校計 1	東京情報	2	東洋	11	鶴見大学 1
埼玉 2	私立大学	秀明	1	二松学舎	1	短期大学計 10
電気通信 2	仙台 2	麗澤	1	日本	9	専門・各種学校
上越教育 2	足利 3	亜細亜	2	日本体育	1	国立高崎総合医療センター附属高崎看護 3
富山 1	白鷲 2	大妻女子	1	法政	1	公立館林高等看護学院 1
金沢 2	国際医療福祉 1	桜美林	3	武蔵野	3	東群馬看護専門学校 1
山梨 1	桐生 1	学習院	1	明治	2	深谷大里看護専門学校 1
信州 1	高崎商科 4	北里	1	明治学院	2	群馬県立農林大学校 1
静岡 1	群馬パース 15	共立女子	3	明治薬科	1	大原ビジネス公務員専門学校 1
国立大学計 30	育英 5	杏林	1	立教	4	高崎情報ITクイーター専門学校 1
公立大学	上武 3	工学院	3	立正	2	高崎ビューティーモード専門学校 1
会津 1	関東学園 1	國學院	4	早稲田	3	中央情報大学校 2
高崎経済 15	共愛学園前橋国際 30	國士館	2	駒沢女子	1	太田情報商科専門学校 1
前橋工科 2	東京福祉 9	駒澤	1	東京工芸	1	ミノリビューティー専門学校 1
群馬県立県民健康科学 4	高崎健康福祉 23	芝浦工業	7	神奈川	6	東日本ブライダルホテルラベル専門学校 1
群馬県立女子 8	群馬医療福祉 10	順天堂	6	関東学院	1	東京福祉専門学校 1
新潟県立 1	東都 1	上智	1	湘南工科	1	日本外国語専門学校 1
三条市立 1	跡見学園女子 4	成蹊	1	鶴見	2	大阪動物植物海洋専門学校 1
石川県立 1	東京国際 7	成城	2	日本映画	1	専門・各種学校計 18
都留文科 2	埼玉工業 19	専修	2	新潟医療福祉	2	就職
長野 2	埼玉医科 1	大東文化	14	新潟食料農業	2	信越化学工業株式会社 群馬事業所 2
長野県立 1	城西 4	大正	1	金沢工業	4	しのめ信用金庫 1
公立諏訪東京理科 1	駿河台 1	玉川	2	帝京科学	3	富岡市 1
静岡県立 1	獨協 3	中央	1	皇學館	1	自衛隊(一般曹候補生) 1
公立大学計 40	文教 1	帝京	5	立命館	1	自衛隊(自衛官候補生) 1
	浦和 1	東海	15	広島工業	28	就職計 6

すねや
強矢デザイン事務所
SUNEYA DESIGN OFFICE



合同会社・農業生産法人 菜の花プロジェクトin甘楽
代表 強矢 義和 (昭48年卒)
甘楽郡甘楽町白倉18-13
TEL.0274-74-6442

Experience...旅、またひとつ体験

 **さくら観光株式会社**
群馬県知事登録 旅行業2-18号

武井 哲郎 (昭43年卒)
(旧姓桜井) 洋子 (昭43年東卒)
〒370-2316 富岡市富岡1009
TEL.0274-62-3611代 FAX.0274-64-1301

有限会社 松井会計
松井則幸税理士事務所

代表取締役 松井 則幸(昭56年卒)
所長・税理士

富岡市富岡1473
TEL.0274-62-0314
FAX.0274-64-4647

 **老舗の味 萬屋料理店**

佐俣 廣房 (昭35年卒)
富岡市富岡1045
TEL.0274-62-3321(代)
FAX.0274-62-2469

富高柔道部OB会

会長: 白石豊樹(昭48)
副会長: 中野恒次(昭47)・佐藤 理(昭47)
秋山雅仁(昭48)・伊丹弘明(昭48)
真下広巳(昭50)・小坂橋 好(昭53)
幹事長: 小林正弘(平13)
(補佐: 新井淳司(昭48))
幹事: 佐藤元信(平10)・長岡郁弥(平18)
秋山葉月(平18)・餅原 峻(平20)
顧問: 中山光雄(昭28)・田村浩志(昭32)
武藤立美(昭33)・碓井良一(昭40)
佐々木松夫(昭45)・松浦彰一(昭46)

 **50周年 ANNIVERSARY th**

おかげさまで
50周年

電子機器製造 ISO9001・ISO14001 認証取得工場
代表取締役 勲 河原 覚 (昭62年卒)
株式会社 栄光製作所
グループホーム 小規模多機能型ホーム 住居型有料老人ホーム
介護事業 グループ会社 「虹の家」「太陽の家」「すがお」



卒業から三十年を迎えて



代表幹事
池田 憲亮
(平成6年卒)

今年度、富岡高校同窓会の幹事代表を務めさせて頂くことになりました。池田 憲亮です。早いもので卒業して

三十年を迎えますが、富岡高校で過ごした三年間を昨日の事のように覚えております。私は野球部に所属しており、甲子園を目指し日々の厳しい練習と苦学な学業を何とか両立させようと日々過ごしていました。

幸いなことに去年まで富岡高校のPTAの役員を仰せつかり、野球部OB会だけでなく幅広く母校との関係を築くことができました。この年になり学校行事に参加していると、改めて母校の関係者の多さと、その個性の強さに驚かされるばかりです。

そして皆さん共通に地域愛、母校愛に溢れております。

そのような多くの諸先輩方、後輩にあたる方の為にも本年、同窓会幹事代表として、お世話になった富岡高校に恩返しをさせていただく所存です。

旧富岡高校と旧富岡東高校と統合して7年、生徒数が減少傾向にあります。双方の良き伝統を受け継ぎ、新たな歴史を繋いでいく在校生の皆さんの素晴らしい学生生活をお祈りするとともに、今に至るまで多くの困難に立ち向かい、並々ならぬご尽力をされた関係者の皆様に敬意を払い、母校の更なる発展に期待したいと思います。

多くの同窓会員の皆様におかれましては、母校への今後益々の発展と飛躍に、変わらぬご協力をお願いいたしまして、幹事代表挨拶とさせていただきます。

第6回同窓会総会・懇親会のご案内

日時・場所：令和6年10月26日(土) 11:00開式 於 ヴァンヴェール TEL.0274-63-6691

I. 総会 11:00~11:40

- 開会の辞
- 同窓会会長挨拶
- 母校学校長挨拶
- 議事

1. 令和5年度事業報告及び収支決算報告について
2. 令和6年度事業計画及び収支予算書案について

- その他
- 閉会の辞

II. 懇親会 12:00~14:00 会費：6,000円

- 1 開会の辞
- 2 乾杯
- 3 次期幹事紹介
- 4 校歌斉唱
- 5 中締め
- 6 閉会の辞



昨年の講演会

ご出席の回答については、準備の都合上10月5日までに同封のはがきにてご連絡をお願いいたします。なお、同窓会総会・懇親会に関する問合せは、事務局(富岡高校)ではなく、090-2646-0352 關根までお願いします。

○同窓会年会費について

同窓会運営上の唯一の資金ですので、是非ご理解の上、同封の振込用紙にて納入方よろしくをお願いいたします。本会費は、同窓会報等の発行資金に充当されます。今年もコンビニでも振込みが出来るようになりました。なお、当日会場でも申し受けますので、あらかじめご了承ください。

○富高後援会募金のお願い

在校生の学業、部活動等に関連する諸問題を支援する為、出費が重なりますが、同封の振込用紙にて、ご協力をお願いいたします。募金は、一口3000円とし、複数口納めることができます。

○平成6年卒業生(幹事)同級会について

当日、懇親会終了後、ヴァンヴェールにおいて、「平成6年卒業生同級会」を行いますので、あわせて多数ご参加ください。

編集後記

子どもの頃には聞いたこともなかった、猛暑、酷暑、熱中症アウトという言葉が飛び交う暑い毎日を通じてあります。同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。同窓会報第6号をお届けいたします。ご協力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。今年度は、会報委員会に新しい顔ぶれが加わりました。この会報が全国へ配布され、同窓生と母校をつなぐ架け橋となることを願っています。

今後も、充実した紙面を作ってゆきたいと思っております。更なるご支援をお願いいたします。(有賀)

- 富岡高等学校同窓会事務局
TEL 0274(63)0053
FAX 0274(62)2745
- 編集委員
- 〈発行人〉
松井 徹郎(昭43年)
- 〈相談役〉
悴田 利行(校長)
- 〈委員〉
有賀 伸子(昭51年東)
辻 由美枝(昭43年東)
高橋 陽子(昭52年東)
松井 幸子(昭42年東)
小井戸隆子(昭44年東)
荻野 初夫(昭43年)
關根 雅秋(昭38年)